

# IP ランドスケープ特化型 生成 AI ツール 徹底分析レポート

---

国内外主要ツールの機能・価格・活用法を網羅的に分析

---

2026 年 4 月  
Claude Opus 4.6

## エグゼクティブサマリー

IP ランドスケープを支える生成 AI ツールは 2025～2026 年に「検索補助」から「自律型エージェント」へと急進化し、日本市場では少なくとも 25 以上のツールが競合する成長市場が形成されている。特許庁が生成 AI の審査業務適用を開始し<sup>1</sup>、グローバル市場規模は 2025 年の約 14 億ドルから 2034 年に 57 億ドル（CAGR 17.3%）へ拡大が見込まれる<sup>2</sup>中、各ツールの機能・精度・セキュリティの差異を正確に把握することが、知財実務家の戦略的優位に直結する。本レポートでは、国内外の主要ツールを網羅的に分析し、IP ランドスケープ実務での最適な活用法を提示する。

### 1. 日本発ツール 5 強の機能と位置づけ

日本市場において生成 AI を本格的に搭載した IP ランドスケープ・特許分析ツールは、それぞれ明確に異なる強みを持ち、用途に応じた使い分けが求められる。

#### 1.1 Patentfield AIR

**Patentfield AIR**（パテントフィールド、京都）は、IP ランドスケープ分析において現時点で日本市場最強の総合力を持つ。OpenAI GPT シリーズ（GPT-4o、GPT-4.1-nano、GPT-5-nano）を API 経由で搭載し、最大 1 万件の国内外特許を一括で生成 AI 分析できる<sup>3,4</sup>。120 種類以上の可視化手法（引用マップ、ヒートマップ、タイムライン、ポートフォリオスコアリング等）を備え、検索→分析→AI レビューをワンストップで実行する。2025 年に全日本特許・実用新案公報の AI サマリーを標準搭載し、同年 10 月には「AI Summary Global」で中国を含むグローバル特許にも対応を拡大した<sup>5</sup>。料金は BASIC プラン月額約 1.4 万円から、法人向け Corp プランは 5ID 月額 3 万円～、AIR オプションは月額 3 万円～で<sup>6,7</sup>、コストパフォーマンスと IP ランドスケープ機能のバランスが最も優れている。

#### 1.2 Tokkyo.Ai

**Tokkyo.Ai**（リーガルテック社、東京）は、2025 年 6 月に日本初の AI エージェント搭載特許プラットフォームとして大幅進化を遂げた<sup>8</sup>。GPT-4o と Google Gemma を搭載し、「AI 孔明」と名付けられた AI エージェントが対話的に特許検索・分析・明細書起草を支援する。2025 年 12 月には AI の思考プロセスを可視化する「Deep Research」機能を追加し<sup>9</sup>、2026 年 3 月には知財部門を持たない企業向けの「バーチャル知財部」機能を提供開始した<sup>10</sup>。独自の「プライベート特許検索<sup>®</sup>」で検索履歴を社外に出さない機密性が最大の差別化要因であり<sup>11</sup>、月額 2 万円/ID と中小企業にも手が届く価格設定となっている<sup>12</sup>。ただし、可視化・分析機能は Patentfield に比べて発展途上であり、IP ランドスケープ分析よりも出願支援に強みがある。

#### 1.3 Genzo AI

**Genzo AI**（ゲンゾウ・エーアイ、島津製作所 90% 出資、2026 年 4 月設立・サービス開始）は、島津製作所の知財部門が 2023 年から内製開発してきた AI ツールを外販化した点で異色の存在である<sup>13</sup>。明細書作成、翻訳、中間処理、先行文献調査、FTO/侵害予防、契約書レビューの 6 機能をモジ

ルール型で提供し、ベテラン知財担当者の暗黙知を AI プロンプトに形式知化した独自アプローチを取る<sup>14</sup>。島津社内では年間 8,000 万円の外部コスト削減と発明届出業務の 50%効率化を実証済みである<sup>15,16</sup>。年間 100 万～1,500 万円のサブスクリプション型で、組織内のユーザーID 数は無制限<sup>17</sup>。IP ランドスケープ分析というよりは知財業務ワークフロー全体の自動化に強みを持つ。

## 1.4 AI Samurai

**AI Samurai**（2025 年 6 月にトヨタテクニカルディベロップメント＝TTDC の完全子会社化）は、北陸先端科学技術大学院大学と大阪大学発のスピノフで、世界唯一の AI 特許審査シミュレーション機能（A～D ランク判定）を持つ<sup>18,19</sup>。ChatGPT を統合した明細書自動生成、IPC 分類推定、クレームチャート自動作成を備え、2025 年 6 月に拒絶理由通知応答 AI 機能を追加した<sup>20</sup>。トヨタグループ入りにより企業信用力が大幅に向上し、約 100 社が導入済みである<sup>21</sup>。2025 年 12 月には休眠特許の AI 活用によるマネタイズ事業も開始した<sup>22</sup>。

## 1.5 Summaria（サマリア）

**Summaria**（パテント・インテグレーション社）は、現役弁理士兼 AI エンジニアが開発した特許文書読解支援に完全特化したツールである<sup>23</sup>。OpenAI GPT を搭載し、ワンクリックでの発明概要生成、課題・機能・構造・効果の多面的分析、関連度スコアリング（0～100 点）、クレームツリー自動生成を提供する<sup>24,25</sup>。無料プランから利用可能で参入障壁が最も低く、AI 出力には根拠となる明細書の段落番号が併記される証拠ベース設計が特徴である<sup>26</sup>。ただし検索機能や可視化機能は持たず、IP ランドスケープの「分析・読解」フェーズに限定して威力を発揮する。

## 2. グローバルツールの勢力図と日本市場への適用性

海外ツールは大きく3つのカテゴリーに分類でき、日本の知財実務家がIP ランドスケープに活用する際の適性が異なる。

### 2.1 PatSnap Eureka

エンタープライズ統合型プラットフォームの筆頭は **PatSnap Eureka**（シンガポール、2026年3月大幅刷新）で、2億1,000万件以上のグローバル特許と2億件以上の非特許文献を含む35億以上のデータポイントを独自LLM「PatsnapGPT」で分析する<sup>27,28</sup>。RAGとRATの4段階パイプラインを採用し、Eureka Scout（企業・技術スカウティング）、Novelty Search Agent、Pulse（継続監視）など複数のAIエージェントを搭載している<sup>29</sup>。日本語インターフェースに対応し、NASA、Tesla、GEなど15,000社以上が利用するが、エンタープライズ向け価格で中小企業には高額である<sup>30,31</sup>。日本では中央光学出版を通じて販売されている<sup>32</sup>。

### 2.2 Clarivate Derwent Innovation

**Clarivate Derwent Innovation** は、850名以上の専門家が手作業で作成したDWPI（Derwent World Patents Index）6,700万件以上の発明要約という他社が追随不可能なデータ資産を持つ<sup>33</sup>。2024年12月にcolBERTモデルベースのAI検索を導入し<sup>34</sup>、2025年11月には「Derwent Patent Monitor」でAI脅威分析機能を追加した<sup>35,36</sup>。178億件以上の特許公報をカバーし、40の特許庁が採用する信頼性は圧倒的であるが、生成AI機能の搭載はスタートアップ群に比べて慎重である<sup>37</sup>。

### 2.3 LexisNexis PatentSight+ / IPlytics

**LexisNexis PatentSight+**は、業界標準の特許価値評価指標「Patent Asset Index」を有し、2025年9月に自然言語AIアシスタント「Protégé」を導入した<sup>38,39</sup>。平文での質問からカスタムワークブック・チャート・テーブルを自動生成するAI-Powered Analysis Builderを搭載し、PatentSight+ユーザーには追加費用なしで提供される<sup>40,41</sup>。同じLexisNexisグループの**IPlytics**は標準必須特許（SEP）分析の世界的リーダーで、AI駆動のSemantic Essentiality Score（SES）により特許のSEP必須性を1~100で自動スコアリングする<sup>42,43</sup>。

### 2.4 Questel Orbit Intelligence

**Questel Orbit Intelligence**（フランス）は1億件以上の特許と1.5億件以上の非特許文献を擁し、2025年10月に生成AIアシスタント「Sophia」を導入した<sup>44,45</sup>。日本特許庁のデータにも対応し、登録統計・審査部門予測機能を含むProsecution Packが日本での実務利用に適している<sup>46</sup>。

### 2.5 注目すべき新興勢力

フィンランドの**IPRally**はグラフニューラルネットワーク（Graph AI）で120億件以上の特許をナレッジグラフ化し、2025年に完全自律型「IPRally Agent」をリリースした<sup>47,48</sup>。テキスト・PDF・画像をアップロードするだけでクレーム特定→検索→特徴チャート+レポート生成を自動実行する

<sup>49</sup>。Google 出資の **Patlytics**（米国、2025 年 2 月に 1,400 万ドルのシリーズ A 調達）はカスタム LLM でクレーム分析・侵害検出・ホワイトスペース分析を提供する<sup>50,51</sup>。**Perplexity Patents**（2025 年 10 月ベータ版公開）は、対話型 AI による特許検索を無料で提供し、専門家でもなくとも自然言語で特許調査を行える「民主化」ツールとして急速に普及している<sup>52,53</sup>。

### 3. ツール分類マトリクスによる最適選択

生成 AI 活用度合い、対象ユーザー、機能範囲の 3 軸で主要ツールを分類すると、明確なポジショニングマップが浮かび上がる。

#### 3.1 主要ツール比較一覧

カテゴリー	ツール	生成 AI	価格帯	IPL 適性	日本語	エージェント
日本・総合型	Patentfield AIR	GPT-4o/5-nano	月 1.4 万～10 万円	★★★★★	◎	△
日本・出願支援型	Tokkyo.Ai	GPT-4o+Gemma	月 2 万円～	★★★	◎	○
日本・WF 型	Genzo AI	LLM (非公開)	年 100 万～1,500 万円	★★	◎	×
日本・審査シミュ型	AI Samurai	ChatGPT+独自 AI	要問合せ	★★★	◎	△
日本・読解特化型	Summaria	OpenAI GPT	無料～	★★★	◎	×
グローバル・統合型	PatSnap Eureka	PatsnapGPT	エンタープライズ	★★★★★	○	◎
グローバル・統合型	Clarivate Derwent	colBERT+LLM	エンタープライズ	★★★★★	○	△
グローバル・戦略型	PatentSight+	マルチモデル AI	エンタープライズ	★★★★★	○	○
グローバル・統合型	Questel Orbit	Sophia GenAI	サブスクリプション	★★★★★	○	○
SEP 特化型	IPLYtics	NLP/ML	エンタープライズ	★★★	△	×
グラフ AI 検索型	IPRally	Graph Neural Net	年額/ユーザー	★★★★★	○	◎
AI 検索民主化型	Perplexity Patents	エージェント AI	無料～月 20 ドル	★★	×	◎
全機能 AI 型	Patlytics	カスタム LLM	エンタープライズ	★★★★★	△	○

※ IPL 適性 = IP ランドスケープ分析への適合度。WF = ワークフロー。

#### 3.2 生成 AI 活用度合いによる 3 段階分類

第 1 世代 (従来型 AI) のキーワードマッチング・統計分析に留まるツールは急速に淘汰されつつあり、現在の最前線は以下の 3 段階に分かれる。

(1) **生成 AI 統合型** (GPT/Claude 等の LLM を API 経由で搭載し要約・分類・レビューを実行) : Patentfield AIR、Tokkyo.Ai、Summaria、Questel Sophia、Clarivate AI Search、PatentSight+ Protégé。

(2) **自社 LLM 搭載型** (特許データで独自訓練した LLM を保有) : PatSnap (PatsnapGPT)、IPRally (Graph AI)、Patlytics (カスタム LLM)、NLPatent (特許特化 LLM)。

(3) **AI エージェント型** (目標レベルの指示から自律的に多段階推論・実行を行う) : PatSnap Eureka (複数エージェント)、IPRally Agent、Tokkyo.Ai Deep Agent、Perplexity Patents。

## 4. 2025～2026 年の技術革新と規制動向

### 4.1 AI エージェント化

従来の「人間が検索式を作成→AI が結果を返す」というパッシブモデルから、「目標を伝えるだけで AI が自律的に検索・分析・レポート生成を実行する」アクティブモデルへの転換が起きている。DrugPatentWatch の分析によれば、従来 6～8 週間を要した FTO ランドスケープ分析が、AI エージェントにより数時間に短縮される事例が出始めている<sup>54</sup>。PatSnap Eureka、IPRally Agent、Tokkyo.Ai Deep Agent がこの潮流を牽引している。

### 4.2 マルチモーダル AI

Patentfield AIR は GPT-4o のビジョン機能を利用した特許図面解析を実装済みであり、Tokkyo.Ai は AI 画像検索で商標の類似性評価を可能にした<sup>55</sup>。Summarial も 2024 年 9 月に図面分析機能を追加している<sup>56</sup>。化学構造のグラフベース埋め込みによる認識技術も進展しており、PatSnap の Bio/Chemical モジュールが先行する。

### 4.3 特許庁の AI ガイドライン動向

**日本特許庁 (JPO)** は令和 7 年度アクションプランで「生成 AI の審査業務への適用」を新規項目として追加し、AI を自らの審査プロセスに統合する方向に踏み出した<sup>57</sup>。AI 関連発明の審査事例は累計 25 件が公開されている<sup>58</sup>。発明者認定については、現行法では AI 自体は発明者になれず、自然人の関与度で判断する立場を維持する。

**USPTO** は 2025 年 11 月にバイデン政権下の AI 発明者ガイダンスを撤回し、AI を「研究設備やソフトウェアと同等のツール」と明確に位置づけた<sup>59,60</sup>。Pannu 要件の AI 文脈での適用を撤回し、標準的テストのみを適用する。

**EPO** は 2025 年 4 月発効の改訂審査ガイドラインで AI/ML 発明の特許適格性を明確化し、COMVIK 二段階アプローチを再確認した<sup>61,62</sup>。**WIPO** は 2026 年 3 月に AI Infrastructure Interchange (AIII) を立ち上げ、1,700 名以上の参加者によるグローバル対話を開始している<sup>63</sup>。

### 4.4 市場動向：製造業による知財 AI の取り込み

トヨタグループ (TTDC) による AI Samurai 完全子会社化 (2025 年 6 月)<sup>64</sup>、島津製作所による Genzo AI 設立 (2026 年 4 月)<sup>65</sup> は、知財 AI が単なるツールではなく戦略的企業能力として位置づけられ始めたことを示す。VC 投資面では、Ankar (ロンドン、元 Palantir チーム) が 2,400 万ドル<sup>66</sup>、Patlytics (Google 出資) が 2,100 万ドルをそれぞれ調達しており<sup>67</sup>、IP AI 領域への資金流入が続いている。

## 5. IP ランドスケープ 5 大ユースケースでの AI 活用法

### 5.1 技術動向分析

Patentfield AIR の一括 AI 分析とマインドマップ出力が最も直接的に機能する。最大 1 万件の特許セットに対して技術トレンドの自動検出、キーワード出現頻度分析、出願年次推移の可視化を一気通貫で実行できる<sup>68</sup>。PatSnap の Eureka Scout エージェントも、特定技術領域の動向を自律的にスカウティングし、クラスタリングマップで可視化する<sup>69</sup>。実務上は、「発散フェーズ」で生成 AI にテーマ領域のデータを入力し新規用途候補を提案させ、「収束フェーズ」で特許・論文データベースを用いて証拠ベースで深掘りするという二段階アプローチが旭化成やコニカミノルタで実践されている<sup>70</sup>。

### 5.2 競合他社分析

PatentSight+の Patent Asset Index による定量的ポートフォリオ比較が最も経営層に響く<sup>71</sup>。競合企業の技術開発方向性、出願クレーム構造の微細な変化から R&D 注力領域の変化を読み取る分析は、Patentfield AIR のポートフォリオ分析機能や Derwent の DWPI 要約を活用することで精度が向上する<sup>72</sup>。

### 5.3 ホワイトスペース分析

PatSnap の AI エージェントが複数技術領域の交差点にある未開拓領域を自動発見する機能を持ち、Patlytics もホワイトスペース分析を主要機能として搭載している<sup>73</sup>。Patentfield AIR の 120 種以上の可視化手法を組み合わせ、技術密度ヒートマップ上で競合出願の「空白地帯」を特定するアプローチが実務的に有効である<sup>74</sup>。

### 5.4 M&A・アライアンス候補評価

IP ランドスケープが最も直接的に経営判断に貢献するユースケースである。買収対象企業の特許ポートフォリオを PatentSight+の Patent Asset Index で定量評価し、Derwent Innovation の DWPI 要約で技術内容を迅速に把握し、Patentfield AIR で自社技術とのシナジーを技術マップ上で可視化するという複数ツール連携が理想的なワークフローとなる<sup>75</sup>。デロイト トーマツは機械学習によるネットワーク分析でアライアンス候補先を探索するコンサルティングサービスを提供している<sup>76</sup>。

### 5.5 自社ポートフォリオ評価

PatentSight+の定量指標群（被引用インパクト、市場カバレッジ等）と Patentfield AIR の AI 分類・ラベリング機能を組み合わせ、冗長な特許の特定→戦略的放棄→コア技術への集中という最適化サイクルを回すことが推奨される<sup>77</sup>。AI Samurai が 2025 年 12 月に開始した休眠特許マネタイズサービスは、ポートフォリオ評価の出口戦略として新しい選択肢を提供している<sup>78</sup>。

## 6. ツール選定と段階的導入ロードマップ

知財実務家が AI ツールを選定する際の最重要基準はセキュリティと機密情報保護であり、未公開発明を AI に入力する際のデータ利用ポリシー（学習利用の有無）、プライベート環境での運用可否、SOC 2/ISO 27001 認証の有無を最初に確認すべきである。Tokkyo.Ai の「プライベート特許検索<sup>®</sup>」や PatSnap・IPRally のゼロ学習データポリシーが現在のベストプラクティスとなっている<sup>79</sup>。

分析目的への適合性、データ品質と信頼性（ハルシネーション対策の実装度）、既存ワークフローとの統合性、コストパフォーマンスを加えた 5 軸で評価し、単一ツールへの依存ではなく目的別の組み合わせが最適解となる。

導入ロードマップとしては、**Phase 1（1～3 ヶ月）**で特定技術領域のパイロット（Patentfield AIR 無料トライアルや Summaria 無料プランの活用、セキュリティガイドライン策定）、**Phase 2（3～6 ヶ月）**で本格導入と技術動向・競合分析の自動化ワークフロー構築、**Phase 3（6～12 ヶ月）**でホワイトスペース分析・M&A 支援への拡張と経営層向けダッシュボード構築、**Phase 4（12 ヶ月～）**で中期経営計画への IP ランドスケープ統合とコーポレートガバナンス・コード対応の知財投資開示体制の整備、という段階的アプローチが現実的である。

## 7. 結論：AI は知財実務を変えたが、戦略眼は人間の領域

IP ランドスケープ特化型生成 AI ツールの進化は、情報処理のボトルネックを劇的に解消し、従来数週間～数ヶ月を要した分析を数時間～数日に短縮した。しかし、IP ランドスケープ推進協議会が示す成功の秘訣——「売上につなげる」「行き詰まった開発プロジェクトのてこ入れに使う」「経営者の景色を理解する」——はすべて、AI ではなく人間の戦略的判断に帰着する<sup>80</sup>。AI エージェントが自律的に分析を実行する時代において、知財実務家の真の価値は「AI に何を問うか」を設計し、その出力から経営的インプリケーションを抽出して意思決定者と共有する能力にシフトしている。最先端のツールを導入しても、経営戦略との接続なくして IP ランドスケープは完成しない。

## 参考文献

- [1] 特許庁「令和 7 年度アクションプラン」（2025 年）。特許庁ウェブサイト：<https://www.jpo.go.jp/>
- [2] Fortune Business Insights「AI in Patent & Market Intelligence Market Size, Share [2034]」（2025 年）。  
<https://www.fortunebusinessinsights.com/ai-in-patent-market-intelligence-market-114122>
- [3] Patentfield 株式会社「Patentfield AIR | 生成 AI 調査・分析オプション」。<https://product.patentfield.com/air>
- [4] Evort「生成 AI 特許検索・調査・分析・査読 | Patentfield AIR」。  
<https://evort.jp/presentations/patentfield/patentfield-air>
- [5] Patentfield「AI サマリー機能をリリース！グローバル特許にも対応した AI サマリーグローバルを 10/1 にリリース」（2025 年）。<https://en.patentfield.com/news/296>
- [6] PR TIMES「『Patentfield』料金プランをリニューアル！1ID2 万円から契約できる mini プランの提供を開始。」。<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000017.000025380.html>
- [7] 萬秀憲「特許特化型生成 AI ツール比較」よろず知財戦略コンサルティング。<https://yoroziuisc.com/>
- [8] Tokkyo.Ai「日本初、AI エージェントを搭載した特許支援プラットフォーム『Tokkyo.Ai』提供開始」（2025 年 6 月）。<https://www.tokkyo.ai/pvt/notice/mytokkyo/>
- [9] ASCII.jp「調査から特許出願文書ドラフトまで自律実行する特許特化ディープリサーチを実装、『MyTokkyoAi』」（2025 年 12 月）。<https://ascii.jp/elem/000/004/362/4362047/>
- [10] ASCII.jp「発明候補の抽出や出願判断、競合分析などを一体化『Tokkyo.Ai』、企業の戦略的特許判断を支援する AI 機能を提供開始」（2026 年 3 月）。<https://ascii.jp/elem/000/004/383/4383120/>
- [11] リーガルテックグループ「Tokkyo.Ai プライベート特許検索」。<https://www.aos.com/tokkyo/>
- [12] Tokkyo.Ai「価格」。<https://www.tokkyo.ai/pvt/price/>
- [13] 島津製作所「知財業務自動化 SaaS 提供の子会社 Genzo AI を設立」（2026 年 3 月）。  
<https://www.shimadzu.co.jp/news/2026/acmnk57uqb3579ay.html>
- [14] Genzo AI「次世代知財業務自動化プラットフォーム」。<https://www.genzo-ai.co.jp/>
- [15] 薬事日報「【島津製作所】知財業務自動化 SaaS 提供の子会社 Genzo AI を設立」（2026 年 4 月）。  
<https://www.yakuji.co.jp/entry131939.html>
- [16] MONOist「年間 8000 万円のコストを削減した知財業務自動化 AI を外販、特許申請を高速化」（2026 年 4 月）。  
[https://monoist.itmedia.co.jp/mn/articles/2604/02/news040\\_2.html](https://monoist.itmedia.co.jp/mn/articles/2604/02/news040_2.html)
- [17] 島津製作所プレスリリース（注 13 と同じ）。
- [18] STARTUP DB「AI Samurai」。<https://startup-db.com/companies/AKxyGk1Ukn3ZVqor>
- [19] 内閣府「サービス紹介資料 株式会社 AI Samurai」（2025 年 2 月）。  
<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tyousakai/kousou/2025/dai3/siryou5.pdf>
- [20] AI Samurai「AI 知財革新セミナー 新機能『拒絶理由通知応答 AI』初公開！」（2025 年 7 月）。  
<https://aisamurai.co.jp/news/>
- [21] 日本経済新聞「トヨタ系の AI サムライ 特許文書の補正案、AI が数分で作成」（2025 年 6 月）。  
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOTG110QZ0R10C25A6000000/>
- [22] 日経 xTECH「トヨタ系の知財新興、価値ある休眠特許を AI で発掘 日本企業の収益化を支援」（2024 年 12 月）。  
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/news/24/02956/>
- [23] PR TIMES「知財実務における生成 AI 利活用に関する特許 4 件を新たに取得(合計 9 件)、2025 知財フェア & コンファレンス出展のお知らせ」。  
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000013.000086119.html>
- [24] Note「特許読解アシスタント『サマリア』の出力サンプルの提供を開始しました | 大瀬 佳之」。  
[https://note.com/ose\\_yosshy/n/n6bb73e517b8c](https://note.com/ose_yosshy/n/n6bb73e517b8c)

- [25] Genspark 「特許文書読解支援 AI アシスタント『サムリア』について」。<https://www.genspark.ai/>
- [26] PR TIMES 「特許読解アシスタント『サムリア』に知財実務を支援する革新的な3つの機能が追加【サービス無料提供中】」。<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000004.000086119.html>
- [27] PatSnap 「AI Agents for IP & R&D Innovation Platform | Patsnap Eureka」。  
<https://www.patsnap.com/solutions/eureka>
- [28] PatSnap Eureka Blog 「Patsnap Eureka Major Updates for Smarter R&D Decisions」 (2026年3月)。  
<https://eureka.patsnap.com/blog/patsnap-eureka-major-updates-2026/>
- [29] R&D World 「Hands-on with Patsnap's Eureka Scout」。<https://www.rdworldonline.com/hands-on-with-patsnaps-eureka-scout-strong-features-meet-evolving-ai-backbone/>
- [30] PatSnap 「Eureka | AI Inside」。<https://open.patsnap.com/>
- [31] Software Finder 「PatSnap: Pricing, Free Demo & Features」。<https://softwarefinder.com/artificial-intelligence/patsnap>
- [32] 中央光学出版 「グローバル特許検索・分析ツール PatSnap Analytics」。  
<https://www.cks.co.jp/home/Products/PatSnapAnalytics.html>
- [33] Clarivate 「Derwent Patent Search Software」。<https://clarivate.com/intellectual-property/derwent/patent-search/>
- [34] PR Newswire 「Clarivate Launches AI-Powered Patent Search Solution in Derwent」 (2024年12月)。  
<https://www.prnewswire.com/news-releases/clarivate-launches-ai-powered-patent-search-solution-in-derwent-302329750.html>
- [35] GuruFocus 「Clarivate Launches Derwent Patent Monitor to Enable Fast and Accurate Decision-making with AI」 (2025年11月)。  
<https://www.gurufocus.com/news/3221423/>
- [36] Stock Titan 「Clarivate launches Derwent Monitor using 67M+ DWPI data for AI IP reviews」。  
<https://www.stocktitan.net/news/CLVT/>
- [37] Spellbook 「Best AI Patent Management Tools for Law Firms and IP Lawyers in 2026」。  
<https://www.spellbook.legal/learn/best-ai-tools-for-ip-lawyers>
- [38] LexisNexis IP 「LexisNexis Announces Protégé AI Assistant in PatentSight+」 (2025年9月)。  
<https://www.lexisnexisip.com/resources/lexisnexis-announces-protege-in-patentsight/>
- [39] R&D World 「LexisNexis Protégé AI launches new PatentSight+ platform」。  
<https://www.rdworldonline.com/protege-brings-query-free-workflows-to-patentsight/>
- [40] LexisNexis IP 「AI in PatentSight+」。<https://www.lexisnexisip.com/solutions/ip-analytics-and-intelligence/patentsight/strategic-insights-powered-by-ai-in-patentsight/>
- [41] LexisNexis IP 「Welcome to LexisNexis PatentSight+」。  
<https://www.lexisnexisip.com/resources/welcome-to-lexisnexis-patentsight-plus/>
- [42] LexisNexis IP 「LexisNexis IPlytics」。<https://www.lexisnexisip.com/solutions/ip-analytics-and-intelligence/iplytics/>
- [43] LexisNexis IP 「Who is Leading the 5G Patent Race? 2025 Report」。  
<https://www.lexisnexisip.com/wp-content/uploads/2025/01/2025-LexisNexis-5G-SEP-Report.pdf>
- [44] Questel 「Orbit Intelligence - Patent Analytics & Search Software」。<https://www.questel.com/patent/ip-intelligence-software/orbit-intelligence/>
- [45] Questel 「AI Patent Software Reviews, LIST Testimonial」。<https://www.questel.com/resourcehub/ai-patent-software-reviews/>
- [46] Questel 「Prosecution Pack – Patent Prosecution Analytics Tool」。<https://www.questel.com/patent/ip->

intelligence-software/prosecution-pack/

- [47] IPRally 「AI Patent Search, Review & Classification」 。 <https://www.iprally.com/>
- [48] TechCrunch 「IPRally, a patent search engine powered by explainable AI, raises \$10.8M」 (2023 年 3 月) 。 <https://techcrunch.com/2023/03/21/iprally/>
- [49] PQAI 「Top 14 AI Patent Search Tools to Simplify Prior Art Search」 。 <https://projectpq.ai/top-ai-patent-search-tools/>
- [50] TechCrunch 「Patlytics raises \$14M for its patent analytics platform」 (2025 年 2 月) 。 <https://techcrunch.com/2025/02/24/patlytics-raises-14m-series-a-funding/>
- [51] Patentext 「A complete list of AI patent tools in 2026」 。 <https://www.patentext.com/blog-posts/a-complete-list-of-ai-patent-tools>
- [52] Perplexity 「Introducing Perplexity Patents: AI-Powered Patent Search for Everyone」 (2025 年 10 月) 。 <https://www.perplexity.ai/hub/blog/introducing-perplexity-patents>
- [53] Resident 「Reinventing Innovation: How Perplexity's AI Is Democratizing the Patent Race」 (2025 年 11 月) 。 <https://resident.com/tech-and-gear/2025/11/06/>
- [54] Drug Patent Watch 「The Future of Patent Intelligence Tools: How AI is Revolutionizing the Landscape」 。 <https://www.drugpatentwatch.com/blog/the-future-of-patent-intelligence-tools/>
- [55] 萬秀憲 「特許特化型生成 AI ツール比較」 よろず知財戦略コンサルティング (注 7 と同じ) 。
- [56] Genspark 「特許文書読解支援 AI アシスタント『サマリア』について」 (注 25 と同じ) 。
- [57] 特許庁 「AI 関連発明」 。 <https://www.jpo.go.jp/system/patent/gaiyo/sesaku/ai/index.html>
- [58] 特許庁 「AI 関連技術に関する特許審査の事例について」 。 [https://www.jpo.go.jp/system/laws/rule/guideline/patent/ai\\_jirei.html](https://www.jpo.go.jp/system/laws/rule/guideline/patent/ai_jirei.html)
- [59] KTS Law 「USPTO Issues Revised Inventorship Guidance, Eliminating Separate Standard for AI-Assisted Inventions」 (2025 年 12 月) 。 <https://ktslaw.com/en/insights/alert/2025/12/>
- [60] Quinn Emanuel 「Developments in the Patentability of AI Inventions and AI-Assisted Inventions」 。 <https://www.quinnemanuel.com/the-firm/publications/>
- [61] Richardt 「Overview of the 2025 EPO Guidelines for Examination」 。 <https://www.richardt.eu/en/news/detail/overview-of-the-2025-epo-guidelines-for-examination/>
- [62] Boulton 「New EPO AI and ML Patent Guidelines Update」 。 <https://www.boulton.com/bulletin/updates-to-epo-guidelines-relating-to-artificial-intelligence/>
- [63] WIPO 「WIPO Launches Artificial Intelligence Infrastructure Interchange」 (2026 年 3 月) 。 [https://www.wipo.int/pressroom/en/articles/2026/article\\_0005.html](https://www.wipo.int/pressroom/en/articles/2026/article_0005.html)
- [64] 日本経済新聞 「特許文書作成の AI Samurai、トヨタ系の完全子会社に」 (2025 年 6 月) 。 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC0356C0T00C25A6000000/>
- [65] 日本経済新聞 「島津製作所、知財業務を AI で効率化 新会社でサービス外販」 (2026 年 3 月) 。 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUF251520V20C26A3000000/>
- [66] Fortune 「Ankar, which uses AI to streamline patent filing, secures \$20 million Series A funding」 (2025 年 12 月) 。 <https://fortune.com/2025/12/17/>
- [67] Fortune Business Insights (注 2 と同じ) 。
- [68] Patentfield AIR 公式サイト (注 3 と同じ) 。
- [69] PatSnap Eureka Blog (注 28 と同じ) 。
- [70] Biz/Zine 「旭化成の IP ランドスケープ活用」 。 <https://bizzine.jp/article/detail/5047>
- [71] LexisNexis IP 「PatentSight」 。 <https://www.lexisnexisip.com/solutions/ip-analytics-and->

intelligence/patentsight/

[72] Patentfield AIR（注 4 と同じ）。

[73] PatSnap Eureka（注 27 と同じ）；Patlytics（注 50 と同じ）。

[74] Patentfield AIR（注 3 と同じ）。

[75] ものづくりドットコム「AI による知財戦略はどこまで進化する？分析の高度化と未来像」。

<https://www.monodukuri.com/gihou/article/5430>

[76] デロイト トーマツ「AI を活用した IP ランドスケープ分析」。

<https://www.deloitte.com/jp/ja/services/consulting/services/ai-ip-analytics.html>

[77] PatentRevenue「ポートフォリオ分析とハイバリュー特許の特定：AI によるパターン認識技術の深層」。

<https://patent-revenue.iprich.jp/patent02/4584/>

[78] 日経 xTECH（注 22 と同じ）。

[79] Tokkyo.Ai セキュリティポリシー（注 12 と同じ）；萬秀憲「特許特化型生成 AI ツール比較」（注 7 と同じ）。

[80] 加藤光宏「取り組もう！IP ランドスケープ」特許法律事務所樹樹。<https://www.juju-law.jp/>

---

※ 本レポートの情報は 2026 年 4 月時点のものであり、各ツールの機能・価格は変更される可能性があります。導入検討時には各提供元の最新情報をご確認ください。